

## 1 8 地域の潜在力を引き出す陸海空の総合的な交通体系の整備について

(財務省、国土交通省)

### 【内容】

わが国全体の経済発展や、いち早い震災復興を目指すためには、愛知・名古屋を一層力強い地域・社会・経済とする必要がある。このため、本県が国際競争力強化の観点から取り組んでいる陸・海・空の総合的な広域交通インフラ(名古屋港、中部国際空港、新東名高速道路、名古屋環状2号線、名豊道路、リニア中央新幹線など)の整備を集中的に推進すること。

### (背景)

モノづくり産業を筆頭に、世界に誇れる産業力、経済力、文化力、地域力が集積している愛知県が、引き続きわが国全体の経済成長の牽引役として発展していくためには、地域力を一層高め、国内はもとより、全世界からヒト・モノ・カネを呼び込む必要があるが、これには交通インフラ整備により企業が活動しやすい環境を整えることが重要である。

また、国は、「新成長戦略」において、成長の牽引役としての大都市の再生を掲げ、「投資効果の高い大都市圏の空港、港湾、道路等の真に必要なインフラの重点投資と魅力向上のための拠点整備を戦略的に進める」こととしている。

こうした施策を押し進め、愛知・名古屋が、今一度世界と闘える力強い地域となることは、わが国経済を大震災による落ち込みから復活させ、被災地域のいち早い復旧、復興に寄与するものである。

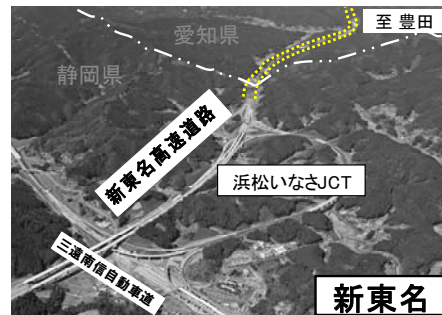
しかしながら、県内における整備の現状は、名豊道路や名古屋環状2号線でミッシングリンクが残り、また、新東名高速道路やリニア中央新幹線といった多重交通ネットワークが未形成であることなど、不十分であり、地域の活力を發揮できない。

人やモノの流れを円滑化し、経済効率を高めて地域の潜在力を引き出すためのインフラとして、東アジアや世界と結ぶゲートウェイである、名古屋港、衣浦港、三河港、中部国際空港の機能強化や、物流拠点と全国各地を結ぶ名古屋環状2号線や新東名高速道路、地域間連携を強化するリニア中央新幹線などの整備を進め、陸海空の総合的な広域交通ネットワークを早急に形成していく必要がある。

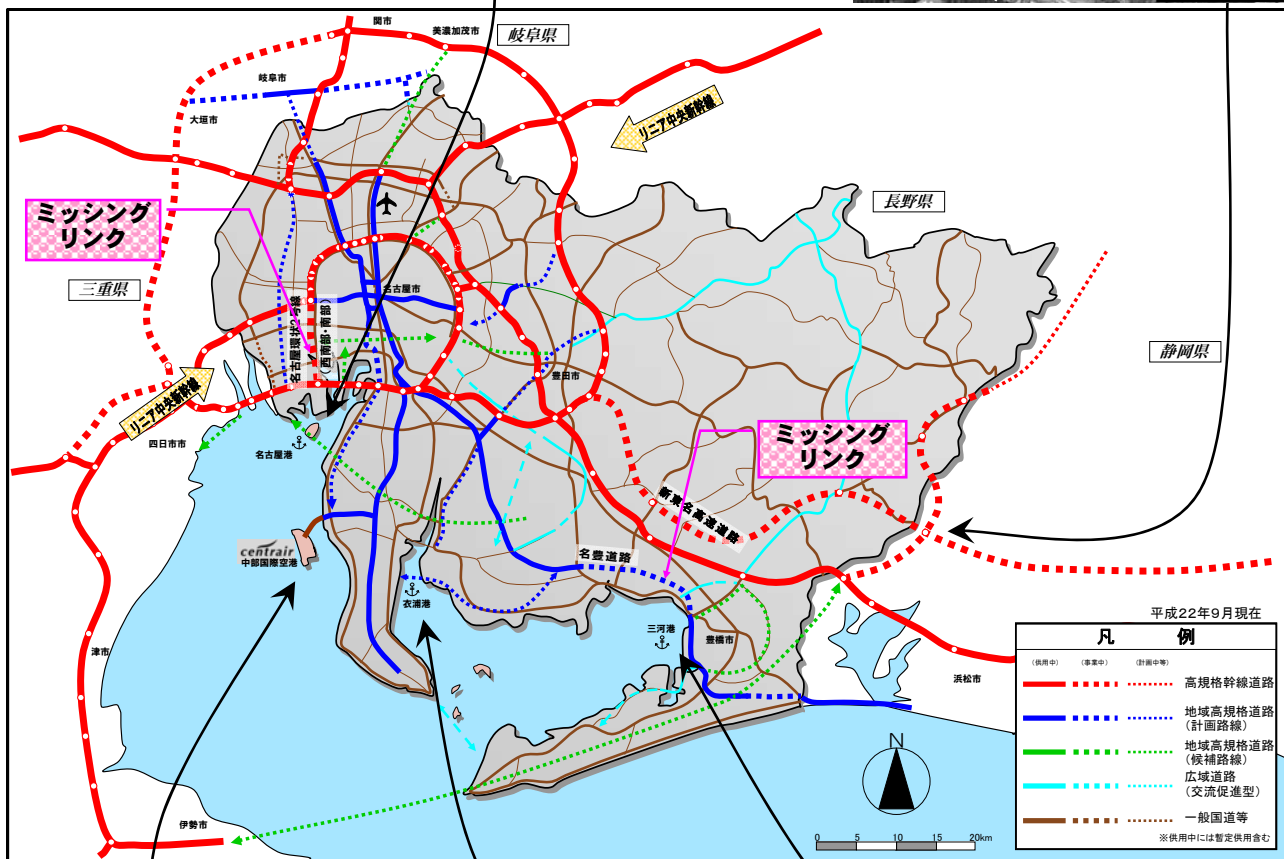
( 参 考 )



名古屋港



新東名



中部国際空港



衣浦港



三河港